

Vol.7

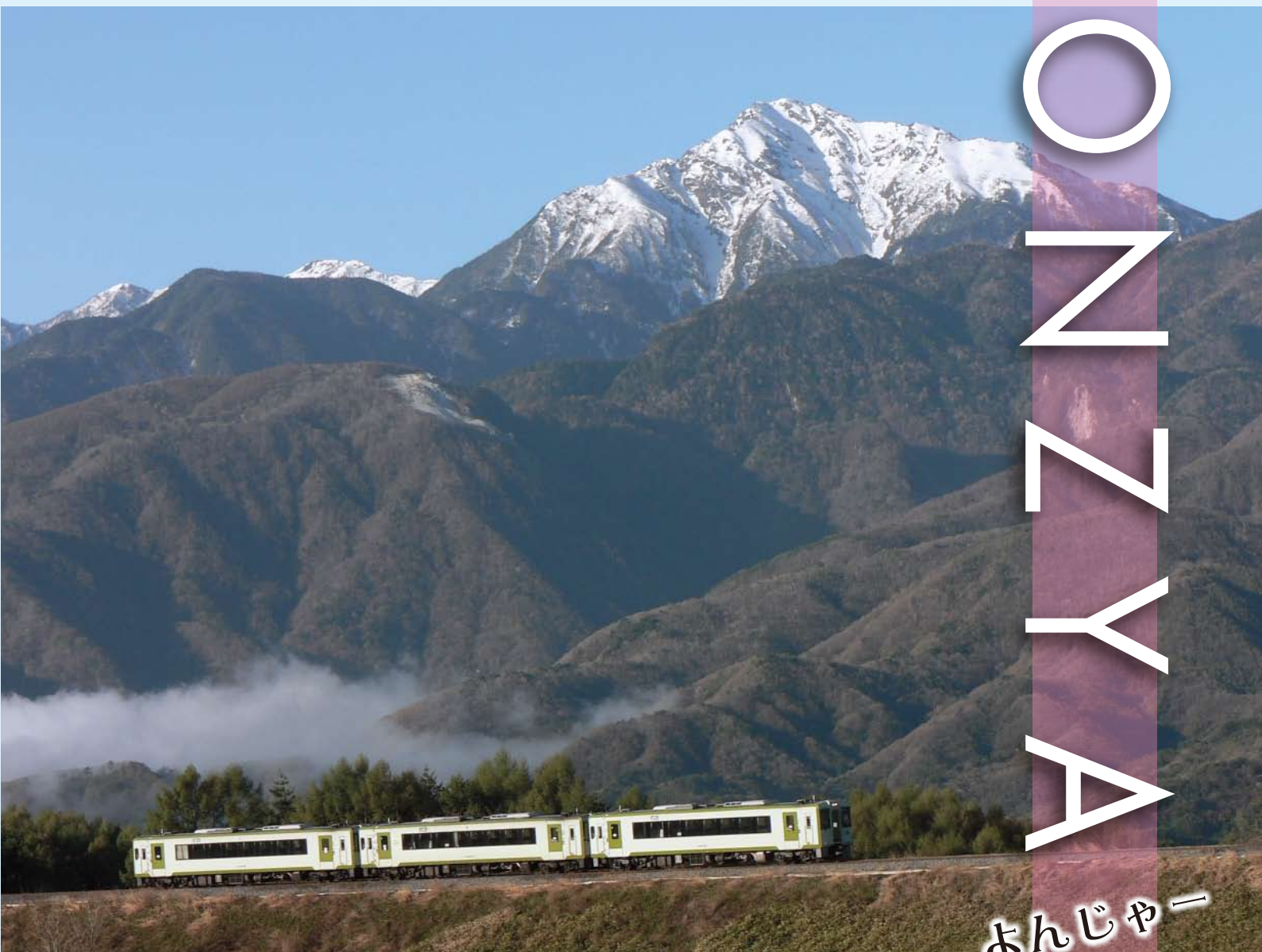
図書館だより

山梨県立大学

ISSN 1884-1112

Y
O
N
Z
Z
Y
A

よんじゃー



CONTENTS

図書館長あいさつ、職員紹介.....	2
ライブラリースタッフの活動	3
学生にお勧めする学術雑誌	4~5
あります、こんな本！（飯田キャンパス）	6
看護図書館の図書館設備に関する調査結果（池田キャンパス）	7
図書館通信、編集後記	8

図書館長のつぶやき

山梨県立大学図書館長

斉藤 秀子

本学の図書館の利用者は、年間述べ12万人に達しています。でも、貸し出し冊数は微減の状態にあります。これはなぜでしょうか。ネットを通じて様々な情報が提供される今日、図書館の在り方も変わってきているのでしょうか。本を借りるための図書館から、学びの場、交流の場、そして知の拠点としての図書館へ、ということでしょうか。ここで、スエーデン、ストックホルム郊外の介護用具研究所図書館を紹介しましょう。高さの低い書架、くつろいだ雰囲気、ゆっくり学べる場としての環境がありました。もちろん、他にも図書館へのニーズはあると思います。今、みんなで考える時がきています。どうぞご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。



図書館スタッフ紹介

看護図書館 (池田キャンパス)



現在、看護図書館では、秋山、石川、長田、岸本、中山、原の6人で勤務しています。

みんな明るく気さくな職員です。看護図書館をご利用の際に、分からないことがありましたら、お気軽に声を掛けて下さい。

県大図書館 (飯田キャンパス)



県大図書館では、平成23年4月より、馬淵、竹澤、駒井の3名の職員が県大図書館の運営にあたっています。本や資料の探し方、図書館利用の方法など、何かありましたらカウンターの職員にお尋ねください。

ライブラリースタッフの活動

学生の視点を取り入れ、大学図書館を活性化させることを目的とした、学生による自主組織ライブラリースタッフが2年目を迎えました。

飯田キャンパスでは、今年度からスタッフ全員が業務補助と活性化活動を行うものとし、業務補助を通じて知った図書館の利用状況に合わせてイベントや展示を企画しています。



前期の展示風景



ライブラリースタッフ：リーダー
柴田 端穂 (国際コミュニケーション学科)

今年度から新たに新着図書紹介を掲示するなど、去年に引き続き精力的に活動を行っています。後期もイベントや展示など学生視点からの図書館活性化を行っていく予定です。来館した際には、スタッフの活動にも目を向けていただければと思います。



看護図書館のライブラリースタッフの活動内容は、図書の貸出返却や配架などの業務補助と、活性化活動の2つがあります。活性化活動は今年度から開始され、4月に1年生を対象として行われる図書館ツアーを学生の視点に立って行い、生きるコーナーの活性化、オープンキャンパスでの図書館の案内などを実施しました。

今後は、今年度同様の活動内容に新たな視点を加えて、利用しやすい看護図書館を目指して活動していきたいと思っています。

学生にお勧めする

「臨床看護」 へるす出版



「臨床看護」は、月1回発刊される月刊誌で年に2回の増刊号も出ています。今年で創刊から37年目を迎え、看護関連の総合誌の中では非常に歴史のある雑誌です。図書館で見ることができるので、一度手にとって見てください。

編集のコンセプトとして、現場のニーズに的確に応えていくような内容を目指しているの、今どんな看護に注目が集まっているのか、どんなことが話題になっているのかなど臨床での動きや情勢を知ることが出来ます。また、ほとんど毎回特集を組んでいるので1つのテーマについて徹底的に掘り下げて書かれてありますし経験豊富な現場ナースの生きた事例を多く紹介しています。そのため上手に利用することで臨地実習での患者さんの理解やケアのために生きた情報を得ることが出来るでしょう。今年の3月号は私が創傷管理とストーマケアの特集を企画していますので、興味のある方は是非ご覧下さい。

看護学部 成人看護学 梶原 睦子



「コミュニティケア」

日本看護協会出版会

学生の皆さんへ「コミュニティケア」を推薦します。この雑誌には、地域ケア・在宅ケアに携わる専門職向けに、タイムリーなケアのトピックスや、ケアの質を高める看護技術のポイントなどがたくさん掲載されています。つまり、現場感覚を大切にした雑誌と言えます。

最近の記事で見ると、高齢者の低栄養や脱水の予防および転倒予防など、在宅療養の継続を目指した高齢者ケアに関連するものや、アロマセラピー、フットケア、在宅皮下輸液、家族への“看取り”の準備教育、グリーフケアなど、在宅緩和ケアに関連するものなど、近年の在宅療養者の層を反映し、在宅の要素をしっかりと取り入れたケアを紹介してくれています。

記事は、図表や写真などによって視覚的にも読みやすく、地域で活動している看護職の動きもつかみやすいもので、学生の皆さんの理解を助けてくれるものと思います。

まずは、是非一読をお勧めします。

看護学部 地域看護学 依田 純子



「日本看護科学会誌」

日本看護科学学会



日本看護科学学会は、看護学の発展を図り、広く知識の交流に努め、もって人々の健康と福祉に貢献することを目的に、1981年に発足し、その学会誌として、和文誌を年4回、英文誌を年2回発行しています。この学術誌が対象とする専門分野は、多岐にわたり、あらゆる分野での看護に

おける研究の動向を読み取ることができます。さらに、学術的な視点に立って論文の審査が行われるため、質の高い論文が多く掲載されています。看護職を目指す上で、また看護実践を研鑽するためには、倫理規範にあるように常に学び続けなければなりません。エビデンスに基づいた看護実践ができるよう、そして患者さんのためによりよい看護サービスが提供できるよう研究を行うことが私たちの使命です。日本看護科学学会誌を精読することで、研究のノウハウを知り、看護を科学的に考える思考を養えると思います。特に、修士課程にある方々には、英文誌を積極的に熟読していただき、グローバルな視野に立った意義のある研究を行っていただきたいと考えます。

看護学部 看護管理学 真下 綾子

「現代思想」

青土社

これは、学生時代に「学生として読まなくてはならない」と先生に紹介された雑誌の1つです。初めて手にした時、あまりにも難解で、内容の理解はともかく、読み通せたことに感動しました。

この雑誌は、思想家の特集も多くありますが、「医療現場への問い」「臨床現象学」など、ケアに関する特集もあります。そして、看護のみならず、哲学や社会学など多様な分野の論述に触れることができます。私の好きな論者は西村ユミさんです。氏は看護師であり、現象学への造詣が深い方で、そのまなざしは慈愛にあふれています。彼女の論述を読むと看護ケアに、そして彼女に魅了されてしまいます。

まずは、気にかかる特集を手にとってみてください。そして、ちょっぴり背伸びして読み続けてみてください。きっと、世界が広がると思います。

看護学部 基礎看護学 植村由美子



「日本語の研究」 日本語学会



国語学会が設立された1944年以来、67年の長きにわたって発刊されてきた学術雑誌です。当初は学会の名前そのままに「国語学」という名称でしたが、創立60年を期して日本語学会の機関誌「日本語の研究」となりました。世界に多数ある言語の一つ

として日本語を認識し、国際的な位置づけの中で、先端的研究成果を披露していこうという考え方に立っています。もちろん、これまでの国語研究の伝統と成果の蓄積を忘れてはいけません。国語の教員を目指す人、日本語教育に生かしたい人、それぞれに有益です。それ以上に、日本語を母語とする人々に役立つ学術雑誌です。

国際コミュニケーション学科 二戸 麻砂彦

「月刊福祉」 全国社会福祉協議会

明治42年に『慈善』の名称で発刊され、その後、『社会と救済』、『社会事業』として引き継がれ昭和36年から現在の雑誌名として、ひたむきに我が国の福祉の実情と向き合ってきた雑誌です。特徴としては、月がわりで話題性の高いテーマを選定し特集がくまれており、福祉を学ぶ学生にとっては興味や関心を誘われる内容となっています。また、“論点”として最新の法改正や福祉課題をキーワードに、それに対する各専門家の解説やさまざまな論述も興味深く読むことができます。さらに、障がい、高齢、子ども、地域など幅広い領域のさまざまな実践例を全国各地から紹介しており、多面的な視点で福祉のあり方を考えていくことができるよう構成されており、読み応えは十分です。気構えしなくてもさらさらとページをめくることができる専門誌として、是非、手にとってみてください。



福祉コミュニティ学科 中島 朱美



“Political Theory : An International Journal of Political Philosophy”

Sage Publications



英文雑誌で、皆さんにはとっつきにくいかも知れないが、政治理論に現状を知るには、恰好の雑誌である。特に、現代の政治学者たちが、どういうテーマに関心を示しているか、そのテーマをめぐるどのような論争が交わされているのかなどを知るためにはなくてはならない雑誌である。

ただ、この雑誌には、政治が「どう」動いているかという、その現状「分析」よりも、むしろ規範的な政治理論を扱った論文が掲載されていることは、予め知っておいた方がよいかもしれない。しかし、そのことに私などはレリヴァンシーを見出している。

しかも「編集委員会Editorial Board」には、コナリー、ウォルツァー、ウォーリンなどの理論畑の人、政治思想家のボーコックやローゼンブルームなどが名を連ねている。それだけに、高水準の業績が期待できるはもちろんである。

この雑誌では、単独論文だけではなく、相互批判を目的としたCritical Exchangeの欄も設けられている。Review EssaysやBooks in Reviewも役立つ。このように読みごたえのある雑誌であり、総合政策学科の学生には、是非一度は手にとって欲しい。

総合政策学科 平田 忠輔

「臨床栄養」

医歯薬出版

「臨床栄養（医歯薬出版）」という月刊

誌を紹介します。「臨床栄養」は、1952年創刊以来、栄養学、臨床栄養学の専門情報を発信してきた歴史ある専門雑誌です。雑誌の掲載内容は学術論文ではなく、医療現場や生活における栄養関連の最新トピックス



です。読者として、管理栄養士、栄養に興味のある医師やコメディカル、栄養学研究者、栄養士養成校教員・学生が想定されています。様々な立場の専門家の簡潔な文章や図から最新情報を多角的に得ることができますので、看護や福祉を学ぶ学生の皆さんにもお薦めです。例えば、実際に紹介されたトピックスとして、「高齢者の栄養ケア」「在宅医療」「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」などがあります。看護師、介護福祉士、保育士などを目指す学生の皆さんが、日進月歩の医療や食に関する知識・情報を積極的に取り入れ、実践的な学びを深めていかれることを期待しております。

人間形成学科 鳥居美佳子

あります こんな本！

県大図書館
(飯田キャンパス)

県立大学図書館（飯田キャンパス）では、「国際政策学部」と「人間福祉学部」に関連した社会科学系資料を特に多く所蔵していますが、現在11万冊を超える本の中には、他にもいろいろなものがあります。

●洋書 (Graded Readers)

英語を外国語として学習する人のために、使用する語彙や文法を段階的に制限した読み物 (Graded Readers)が刊行されています。やさしいレベルから段階分けされていて、自分に適したレベルの本を選ぶことができます。県大図書館では、次のシリーズを2011年度より新たに購入しました。

Penguin Readers (Longman)

Graded Readersの中でも代表的なシリーズ。300冊以上発行されています。

Macmillan Readers(Macmillan)

書き下ろし、話題作、現代小説などさまざまな作品の簡約版のほか、アジアや中近東を舞台にした作品など、英米以外の作品があるのが特徴です。

Oxford Bookworms Library(Oxford University Press)

古典や話題の小説の簡約がそろっており、ジャンルは実話からミステリ、ファンタジー、ホラー、人間ドラマなど多岐にわたっています。



●絵本・大型絵本・紙芝居

幼稚園教諭や保育士の資格を取ることができる人間形成学科があることから、絵本や紙芝居の所蔵が充実しています。その中から、保育園や幼稚園での実習期間に人気の「大型絵本」を紹介します。通常の絵本と同様に館外への貸出が可能です



『100かいだてのいえ』いわいとしお／作 偕成社

100階建ての家のてっぺんにすむ誰かから、トチくんのところに招待状が届きます。見上げてみてもかすんで見えないほどのおおきな家を、トチくんが一階ずつ登っていくと…。長辺がなんと1メートル以上という、まさしく「大型」絵本。

『スイミー』レオ・レオニ／作 好学社

小さな魚の兄弟たちはみんな赤いのに、スイミーだけが黒色。ある日、兄弟たちは大きな魚に食べられてしまい、スイミーだけが生き残ります。

広い海を旅して、兄弟たちと同じ赤い魚と出会ったスイミーは、大きな魚におびえて暮らす彼らにひとつの提案をします。教科書でもおなじみ『スイミー』の大型絵本です。

『はっぱのおうち』征矢清／作 林明子/絵 福音館書店

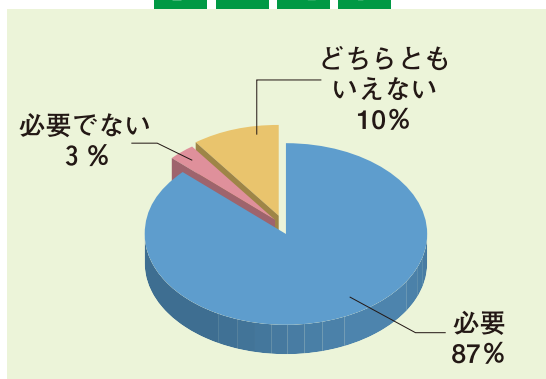
雨の中、小さな女の子が葉っぱのおうちで雨やどり。そこにやってきたのは、かまきり、もんしろちょう、こがねむし……。小さなお客さまと女の子のほのぼのとした交流を、『はじめてのおつかい』『こんとあき』など優しく温かみのある絵柄で定評のある林明子さんが描きます。一緒に雨やどりをしたくなる絵本です。

看護図書館（池田キャンパス）の図書館設備に関する調査結果

看護図書館では、現在、グループワーク（以後 GW）スペースが館内になく、図書館ではグループワークをすることができない状況にあります。

しかし、実習や試験の際には、GW をすることが多く、以前から GW スペースの要望が多く上がっていました。そこで、利用者である学内の学生、教員、県内看護職の方を対象に、平成 23 年 6 月 13 日から 9 月 21 日の間に、それぞれアンケート調査を行いました。学生 (295 人)、教員 (41 人)、県内看護職 (290 人) あわせて、626 人の方からご協力頂きました。その結果の一部を紹介します。

学生対象



グループワークとは…？

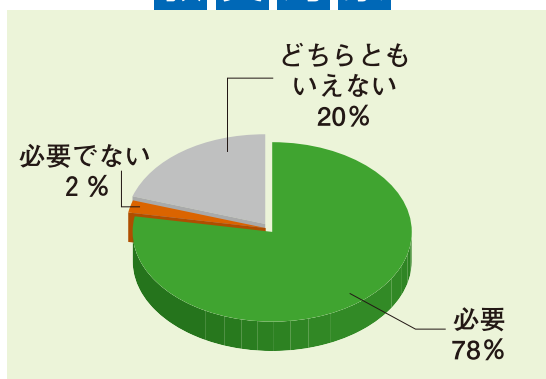
複数でグループを組み、その中で学習を進めていくことを言います。グループの中で一つの課題や疑問点などを話し合いながら解決に取り組む学習方法です。

GW スペースは必要か

学生は、図書館で GW ができない分、池田キャンパス内で行っている現状がありますが、87% が必要と答えており、やはり、図書館で GW をすることを望んでいることが分かります。

また、GWスペースができれば利用するかという問いには、85%が利用すると答えました。

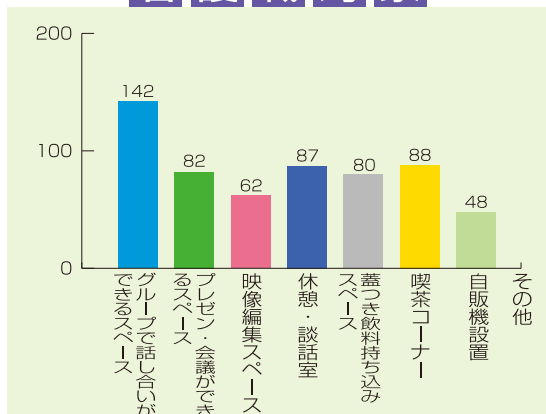
教員対象



GW スペースは必要か

教員は、78% が必要と答えており、学生同様多くの要望があります。利用方法としては、学生へ利用を進めたり、研究活動、授業の際に使用するという意見が上がりました。

看護職対象



図書館にどのような設備があればよいか

県内看護職の方へは、図書館にどのような設備があると活用しやすくなるかを聞いた結果、「グループで話し合える場所」への意見が最も多く集まりました。

次いで多かったのは「喫茶コーナー」「休憩・談話室」「プレゼン・会議ができるスペース」への意見でした。（複数回答）

今回の調査により、これまでの GW スペースの要望を数値としてみることができました。図書館の学習の場としての機能を充実させ、より利用しやすくするため、調査で得られた声を課題としてとらえ、検討していきたいと思っています。

ここでは、各図書館でみなさんにお知らせしたい図書館のコーナーや資料のほか、図書館で起きたできごとなどを紹介します。

県立大学図書館

県立大学図書館では、2階の洋書・山梨県関係行政資料庫が新しくなり、さらに使いやすくなりました。これに伴い、今までは1階閲覧室に置いてあったビデオテープのうち、自然に関する分野などを中心に一部を2階の資料庫内に移動しております。お探しの資料が見つからない場合は、蔵書検索システムにより配架場所をご確認いただくか、図書館職員までお尋ねください。

なお、資料庫の書棚は手動による可動式となっております。書棚を移動する際には周囲の利用者の有無についてご確認をお願いいたします。

また、多読用英語資料のシリーズが入荷致しました。配架場所は1階閲覧室です。レベル別になっておりますので、目的に合わせてご自身にあったものを是非ご利用下さい。

洋書・山梨県関係行政資料庫



多読用英語資料

県立大学看護図書館

閲覧室の書架が増設されました

8月に行った蔵書点検中に、閲覧室の書架の増設作業を行いました。今まであった書架に1本ずつ増設し、計6本の書架が増えました。スペースがなくて、図書が棚に収まりきらない状態でしたが、広々としたスペースになりました。これから、多くの新刊図書を入れる予定です。

また、増設に伴い、看護系図書の配置が少し変わりましたので、ご利用の際には図書館内の掲示をご覧ください。



増設書架風景

今年度より、看護系オンラインデータベースの「CINAHL Plus」を4アクセス導入しました。主に海外の看護関連の文献検索ができます。大学ホームページより看護図書館のページを開いて頂き、「蔵書・データベース検索」をクリックしてください。学内であれば、図書館以外の場所でもご利用できます。詳しい利用方法は職員にお尋ねください。

「CINAHL Plus」を導入しました

固定パソコンが増えました

昨年10月より29台のノートパソコンの貸出を行っていましたが、利用が多いため、今年3月より製本コーナーの前に新たに固定パソコンのコーナーを設置し、29台のうち、10台を固定のパソコンとしました。印刷はできませんが、レポート作成や文献検索などに、ぜひご利用ください。

ノートパソコンの貸出も、固定した10台以外の19台につきましては引き続き行っていますので、ご利用の際はカウンターまでお越しください。

編集後記

今年は、震災、台風など自然災害によって多くの方が被災されました。「複合災害をテーマとする総合問題をどう解くのか。」東日本震災復興構想会議「復興への提言―悲惨のなかの希望―」において、「おそらくそれは、自らを何かに『つなぐ』行為によって見えてくる。」としてまとめています。「つなぐ」ことは、図書館の存在意義を問う言葉でもあるかもしれません。「YONZYA（よんじゃー）」も人、実践・研究を「つなぐ」広報誌でありたいと思います。表紙の写真は、本学を定年退職された大澤準一先生が撮影された写真です。この場を借りてお礼申し上げます。（文責＝堀井）

YONZYA（よんじゃー）vol.7 2011年12月1日発行
Vol.7編集委員会（二戸、原、堀井、馬淵、渡辺）
発行

山梨県立大学図書館
甲府市飯田5-11-1 TEL：055-224-5340

E-mail：lib@yamanashi-ken.ac.jp

山梨県立大学看護図書館
甲府市池田1-6-1 TEL：055-253-9429

E-mail：toshokan@yamanashi-ken.ac.jp